

## 子どもの喘鳴には要注意

東海大学医学部専門診療学系小児科学 望月博之

### 1、喘鳴とは何？

子どもたちは風邪を引きやすく咳をすることも多いのですが、咳とは別に、息をするときにヒューヒューとかゼーゼーという音が聞こえると心配になりますね。このヒューヒュー、ゼーゼーのことを喘鳴と呼びます。子どもの喘鳴には、自然に任せて良い喘鳴と用心すべき喘鳴があるため、注意が必要です。喘鳴がみられたら、息を吸ったときに音がするのか、息を吐いたときに音がするのか、確認しましょう。

### 2、息を吸った時の喘鳴

息を吸った時に音がする代表はいびきです。グー、ガーと聞こえる喘鳴は、風邪をひいたときによく見られますが、主に鼻が詰まって口呼吸になるのが原因で、風邪が治ってしまえば消えてしまいます。しかし、もともと扁桃腺やアデノイドが大きい子どもでは、睡眠中に呼吸が止まる原因にもなるため、要注意です。一方、クループと呼ばれる喉の感染症では、息を吸った時に苦しそうな喘鳴が聞かれます。声帯の周囲がウイルスや細菌の感染によって腫れるため、声が枯れ、犬が吠えるような咳が出ます。重症化することがありますので、必ず受診して下さい。

### 3、息を吐いた時の喘鳴

息を吐いた時にヒューヒュー、ゼーゼーという喘鳴が聞こえる場合は、気管や気管支に異常があると思ってください。苦しいと訴えるようであれば、第一に喘息発作が考えられます。小児の喘息の原因はダニやハウスダストによるアレルギーが多いのですが、急性の発作が起こる原因の第一は風邪です。1年の中では9月の台風シーズンに多く、次いで梅雨の時期にみられます。1日を考えれば、好発時刻は夜間です。喘息発作は吸入治療で改善しますが、日ごろからの管理が重要ですので、一度、専門医に相談するのがよいでしょう。突然、発症した喘鳴であれば、気管内に異物を吸引したかと疑います。この異物吸引は低年齢の子どもに多くピーナッツが一番の原因ですが、窒息する危険もあるので、速やかに受診して下さい。